

地域健康生活論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学修方針（講義概要等）

地域に住む人々のライフサイクルや生活習慣等によって生じる健康問題（ニーズ）を、その地域の特徴や生活及び社会背景と関連させて捉える。また、多様な場で生活する、様々な健康レベルにある人々に対し、生活の質の向上とそれを支える健康で安全な地域社会の構築を目指し、個人・家族・集団・組織・地域へ働きかけ支援する地域看護の概念を学修する。その中で、健康及びプライマリ・ヘルスケアやヘルスプロモーションなどの考え方や、多職種・多機関・住民と共に多様なニーズに対応し様々な場で活動する看護職の役割や地域づくりについて学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

今の社会に地域看護学の視点が求められている背景を捉えた上で、地域看護の基本的な概念を学び、地域の人々の健康課題・ニーズの多様性を生活背景と関連させて捉え、その解決のために、多様な場で生活する、様々な健康レベルにある人々に対し、地域の様々な場において個人・家族・集団・組織・地域に働きかけ活動する看護職の機能・役割、多職種・多機関・住民と協働して支援する必要性を理解できる。また、住民がより健康的な生活を送れるための地域づくりについて考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 地域・コミュニティの概念と地域の特徴を捉える必要性を説明できる。
2. 地域環境や家庭・労働などの社会環境と健康との関連性を説明できる。
3. 健康の概念・地域看護の概念と地域看護活動に必要な理論について説明できる。
4. ライフサイクルや健康レベルに応じ、地域で健康を支える多様な機関・職種を把握できる。
5. 地域看護において看護職が活躍する場の多様性を理解し、看護の役割を考える。
6. 個人・家族、集団、組織、地域に働きかけ支援する例と多職種・多機関・住民と協働した活動の必要性を説明できる。
7. 地域の健康課題とそれを支援するための取り組み事例から地域づくりについて考察できる。

・ 授業日程

【講義】

(矢) 西 1-A 講義室

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
4/18 (火) 2 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>地域と生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・コミュニティの概念および地域を理解する必要性を説明できる。 ・ 自分の居住地を事例に、地域を見る視点を列挙できる。 <p>事後学修：マップ作成</p>
4/25 (火) 2 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を守るー地域の認知症支援ー (ゲストスピーカー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーターの役割を説明できる。 ・ 認知症になっても安心して暮らせるまちについて考察できる。 ・ 多職種・多機関・住民と協働して支援する必要性が理解できる。 <p>事後学修：地域包括ケアにおける個人・集団・組織との連携について理解を深める。</p>
5/1 (月) 3 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>健康と地域看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康とは何かを解釈できる。 ・ プライマリ・ヘルスケアやヘルスプロモーション、ソーシャルキャピタル・予防の概念が理解できる。 ・ 地域別のデータや家庭・仕事などの社会環境の状況を説明できる。 ・ データを見て健康との関連を意見交換できる。 <p>事前学修：教科書 p.21-30 を読み、地域・在宅看護が推進されている社会的背景を捉える。</p>
5/9 (火) 2 限	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授	<p>地域看護活動の対象と方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域看護とは何かを説明できる。 ・ 対象者（ライフサイクル、健康状態、個人・家族・集団・組織・地域）の多様性を説明できる。 ・ 様々な対象に応じた健康を支える場の特性を把握できる。 ・ ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチについて説明できる。

5/16 (火) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>人々の生活と地域特性（グループワークと発表）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性や社会資源、健康に関する情報を収集できる。 ・ 地域の暮らしを意識し、自分の居住地の地域資源（日常生活を送るために必要な資源、暮らしの中の公的サービス）を説明できる。 ・ 地域資源の個人・家族の多様性、生活の多様性を考察できる。 <p>事前学修：マップ発表・提出準備 事後学修：地域の人々と連携し、地域全体で支えあうまちづくりについて考えたことをまとめ、提出する。</p>
5/23 (火) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>地域看護における看護職の活動の場と役割 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域看護活動において、保健師・養護教諭の活動の場と役割を説明できる。
5/30 (火) 2限	地域包括ケア講座 藤澤 純子 助教	<p>地域看護における看護職の活動の場と役割 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院と地域の間で行われる継続看護の様子が理解できる。 ・ 地域看護活動において、看護師・助産師の活動の場と役割を説明できる。 ・ 地域で活動する看護職について感じたこと意見交換できる。
6/6 (火) 2限	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授	<p>地域で暮らす人々の生活と健康を守る－沢内村の地域包括ケア－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの目的を理解できる。 ・ 沢内村の実践から命を守るための行政の役割を考察できる。 <p>事後学修：地域包括ケアの中での看護職の役割をあげ、自分がどのように社会に関わるか考えたことをまとめ提出すること。</p>

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア	臺 有桂 他編	メディカ出版	2022
参	家族看護を基盤とした地域・在宅看護論 第5版	渡辺 裕子 監	日本看護協会出版会	2021
参	公衆衛生看護学.jp 第5版	荒賀直子 他編	インターメディカル	2020
参	在宅現場の地域包括ケア	秋山 正子	医学書院	2016
推	健康格差社会への処方箋	近藤 克則	医学書院	2017
推	大植町 保健師による全戸家庭訪問と被災地復興	村嶋 幸代 他編	明石書店	2012

推	村長ありき 一沢内村 深沢晟雄の生涯	及川 和男	新潮社 れんが書房新社	1984 2008
推	沢内村奮戦記 一住民の生命を守る村	太田 祖電 他	あけび書房	1983
推	吾が住み処 ここより外になし 一田野畑村元開 拓保健婦の歩み	岩見 ヒサ	萌文社	2010

・成績評価方法

定期試験 70%、指定した提出課題 30%により、総合的に評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

人々の多様な暮らしぶりに関心を持ち臨むこと。シラバスに記載されている「授業内容／到達目標」を確認し、配布資料から事前・事後学修を行うこと。各授業に対する事前・事後学修時間は最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・レスポンスカード・課題レポートは、適時コメントを伝えるなど、学生にフィードバックする。
- ・試験のあとは、WebClass に必要な解説を掲載する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護学概論
看護師（別表 3）：専門分野 地域・在宅看護論

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時使用
講義	デスクトップパソコン（HP ProDesk 400 G7 SFF）	1	講義資料の作成等